

笛吹市 議会だより

令和4年1月21日発行

2022

Vol.69



- 会期日程・議会日誌 ② 委員会レポート ⑩
- 臨時議会 ③ 人事案件・追加議案 ⑬
- 提出案件一覧表 ④ 意見募集結果 ⑭
- 質疑および一般質問 ⑤ 市民リレートーク/編集後記 ⑯

12月議会・会期日程

11月26日（金） 議会運営委員会
全員協議会

12月3日（金）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案の説明

・追加議案の説明

（質疑・討論・採決）

12月13日（月）

●本会議 質疑及び一般質問

・委員会付託

12月15日（水） 16日（木）

・各常任委員会（付託事件審査）

12月21日（火）

●本会議 委員会審査報告・追加提

出議案の説明・委員会付託・審査

（質疑・討論・採決）

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

9月 September

- 2日 東京2020オリンピック出場報告並びに市民栄誉賞授与式
- 3日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 5日 笛吹市総合防災訓練
- 8日 質疑・質問通告期限、通告確認会議（通告確認及び許可）
- 10日 第3回定例会本会議（開会）
- 21日 第3回定例会本会議（代表質問）
- 22日 第3回定例会本会議（一般質問・付託）
- 27日 常任委員会
- 28日 常任委員会
- 29日 常任委員会（決算認定審査）
- 30日 常任委員会（決算認定審査）

10月 October

- 1日 常任委員会（決算認定審査）
- 5日 議会運営委員会、全員協議会
第3回定例会本会議（最終日）
- 7日 つくばみらい市リモート視察研修（受入れ）
- 12日 市制施行17周年記念式典
議会広報編集委員会
- 14日 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 15日 新春交歓会発起人会
- 19日 都市計画審議会
峡東地域広域水道企業団 議員全員協議会
峡東地域広域水道企業団 定例会

- 20日 山梨県市議会議長会（第266回定期総会）
- 21日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合議会（幹事会・全員協議会・定例会）
- 22日 山梨県市町村総合事務組合議会定例会
- 25日 釈迦堂遺跡博物館組合議会（議員全員協議会・本会議）
山梨県後期高齢者医療広域連合（全員協議会・本会議）
令和3年度ふえふきフェア「富有柿」消費拡大宣伝会
- 26日 障壁画『令和の甲州石和暁』披露式（石和温泉観光協会主催）
定例全員協議会
- 29日 東山梨行政事務組合全員協議会・議会

11月 November

- 2日 笛吹市戦没者合同慰霊祭
バート・メルгентハイム市へのビデオレター収録
- 10日 会派別視察（新風会）
富士通ペーパーレス会議システムデモ
タブレット端末研究会
- 12日 笛吹みんなの広場竣工式典
- 14日 第16回笛吹市フルーツロード駅伝競走大会
- 17日 質疑・質問通告書発送
- 19日 質疑・質問受付開始
- 22日 森林整備協定締結式
- 24日 議会運営委員会・全員協議会・臨時会
議会改革委員会
- 26日 議会運営委員会・議会全員協議会

令和3年第1回臨時議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 討(討論があった場合)
 (保坂利定議長を除く)

| 種別 | 案 件 名 | 笛新会 | | | 新風会 | | | 誠和会 | | 公明党 | | 笛政クラブ | | 日本共産党 | | 無党派 | 結 果 | | | |
|------|--|-------|--------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|-------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|
| | | 海野利比古 | 保坂利定 | 神宮司正人 | 荻野謙一 | 神澤敏美 | 武川則幸 | 落合俊美 | 岡由子 | 山田宏司 | 河野正博 | 小林始 | 中村正彦 | 渡辺清美 | 中川秀哉 | 前島敏彦 | | 古屋始芳 | 渡辺正秀 | 河野智子 |
| 専決 | ・笛吹みんなの広場条例の一部改正についての専決処分の承認 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 承認 | |
| 条例改正 | ・市職員給与条例の一部改正 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 討 | ● | ● | 可決 |
| 補正予算 | ・令和3年度一般会計補正予算(第7号) ・令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) ・令和3年度介護保険特別会計補正予算(第3号) ・令和3年度介護サービス特別会計補正予算(第2号) ・令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ・令和3年度境川観光交流センター特別会計補正予算(第2号) ・令和3年度水道事業会計補正予算(第3号) ・令和3年度公共下水道事業会計補正予算(第2号) | ○ | 議 長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | 可決 |

用語解説

※専決処分とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず自分で決めること。緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。

2月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容(表題)を公開しています。参考にご覧ください。

令和4年第1回定例会本会議の日程(予定)

2月22日(火) 13:30～ 開会(初日) 市長施政方針・提出議案説明

3月 3日(木) 10:00～ 質疑及び代表質問

4日(金) 10:00～ 質疑及び一般質問・付託

7日(月) 10:00～ 質疑及び一般質問(予備日)

14日(月) 13:30～ 委員会審査報告・討論・採決

23日(水) 13:30～ 閉会(最終日) 委員会審査報告・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴席(定員42名)を約半数にさせていただいております。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継が見られます。放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

令和3年12月定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 討(討論があった場合)
 (保坂利定議長を除く)

| 種別 | 案 件 名 | 笛新会 | | | 新風会 | | | 誠和会 | 公明党 | 笛政クラブ | | 日本共産党 | | 無党派 | 結 果 | | | | | | | |
|-----------|--|-------|------|-------|------|------|------|------|-----|-------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|--|
| | | 海野利比古 | 保坂利定 | 神宮司正人 | 荻野謙一 | 神澤敏美 | 武川則幸 | 落合俊美 | 岡由子 | 山田宏司 | 河野正博 | 小林始 | 中村正彦 | 渡辺清美 | | 中川秀哉 | 前島敏彦 | 古屋始芳 | 渡辺正秀 | 河野智子 | 野澤今朝幸 | |
| 条例制定改正 | ・個人情報保護条例の一部改正 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | 可決 | |
| | ・市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・国民健康保険条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・環境基本条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・市営住宅条例等の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・景観条例の一部改正 ・市立図書館条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度補正予算 | ・一般会計補正予算(第8号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・介護保険特別会計補正予算(第4号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・水道事業会計補正予算(第4号) | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | ・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算(第1号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・一般会計補正予算(第9号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・一般会計補正予算(第10号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | ・公の施設に係る指定管理者の指定(石和第五保育所) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・公の施設に係る指定管理者の指定(一宮児童館(学童保育室)) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・公の施設に係る指定管理者の指定(八代地域振興交流センター(八代農産物直売所)) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・公の施設に係る指定管理者の指定(春日居スポーツ広場) | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | ・東山梨行政事務組合からの脱退 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・東山梨行政事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分 ・東八代広域行政事務組合規約の変更 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人事 | ・人権擁護委員候補者の推薦 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | ・教育委員会委員の任命 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 | |
| 選挙 | ・新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議員の選挙 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 当選 | |
| 発議 | ・「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書の提出 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |

用語解説

- ※1 請願とは……住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。(必ず議員の紹介が必要)
- ※2 意見書とは……議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。

12月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、8人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



渡辺清美議員
(公明党)

問 デジタル化推進は

答 活用支援対策を行う

渡辺清美議員 ①マイナンバーカードの申請受付に対する、今後の取り組みは。

②高齢者など、身近な場所でデジタル機器・サービスの使い方を学べるデジタル活用支援が必要だと考えるが、今後の本市の対策は。

③コロナ禍により失業が深刻な女性をデジタル人材として教育し、雇用に結び付けることや介護者や障がい者など時間的な制約がある方の支援拡大も必要だと考えるが、市の今後の対策は。

返田総合政策部長 ①5人以上の申請希望があれば出張申請に伺う。各支所でも申請受付ができるよう体制を強化。国は、取得促進を図っており、市でも更なる普及に努める。
②国のデジタル庁の発足や電子申請の普及などの現状を踏まえ、高齢者のデジタル活用支援対策を行う。
③国では女性のデジタル人材育成を支援する方針が決定されており、本市でも女性や介護者、障がい者が就労するための支援策を検討していく。

問 リサイクルステーション設置を

渡辺議員 地域の回収日以外でも、家庭で一定量たまった時に資源物を持ち込むことができるリサイクルステーションの設置について、多くの市民が必要性を訴えている。市の考えは。

答 有効性を含め研究する

雨宮市民環境部長 昨年度、連合区長会で一部の区長会からリサイクルステーションの設置を希望する意見があったが、地元の負担増や、区への資源物回収奨励金の減少、不法投棄など、様々な課題に対する懸念が出され、連合区長会としての要望には至らなかった経緯がある。市では可燃ごみの減量率の鈍化等の改善に向け、あらゆる方策を検討することにしており、リサイクルステーションの設置についても有効性を含め、引き続き研究していく。



中川秀哉議員
(公明党)

問 防災行政無線の維持管理・改善策は

答 一斉配信システム導入も検討

防災行政無線は現状を維持。

問 グリーンインフラの
早期導入は

中川議員 自然が持つ多様な機能を活用し、道路や河川など社会基盤を整備するグリーンインフラの導入が進んでいる。

①市が推進する事業のうち、グリーンインフラ導入に該当する計画は。
②SDGsやESG投資のため、笛吹版グリーンインフラの導入計画は。

答 今後も自然豊かな環境を生かして各施策に取り組み

返田総合政策部長 ①ハード、ソフトの両面において自然の多様な機能を活用した事業を実施。今後も自然環境を意識した事業計画を行う。
②自然環境を生かしながら、防災・減災、環境対策及び持続可能な社会の実現を目指すSDGsにも寄与する取り組みを推進している。今後も、市の自然豊かな環境を生かしながら、各施策に取り組みしていく。



河野正博議員
(新風会)

問 消火栓の維持管理は

答 新設・移設に300万円

河野正博議員 ①行政区・消防団から修繕・移設・新設の要望は何件か。

②消火栓の修繕などの予算額は。
③1基当たりの工事、概算費用は。
④消火栓工事の主体部署と進め方は。
⑤現状把握の上予算化と計画が必要では。

深澤総務部長 ①行政区からの要望は修繕1カ所、新設7カ所。また、消防団からの要望は修繕1カ所。

②今年度の予算額は新設や移設で300万円、修繕が100万円。
③新設の場合、舗装の本復旧まで含めると1基当たり平均で120万円程度が必要。修繕費用は、条件により異なるが、平均で50万円程度。
④消火栓施設の新規設置工事・修繕は水道課が実施。消火栓の工事・修繕は防災危機管理課が予算計上し、負担金を公営企業部に支払う。漏水や陥没など緊急対応の場合は優先順位の変更等で対応。

⑤消火栓は各消防団に定期点検を依頼。不具合は確認と修繕を実施。

問 いじめ、不登校、児童虐待、ヤングケアラーは

答 ヤングケアラーは

河野議員 ①ヤングケアラーについて、どのようにとらえているか。

②対応所管部署はどこか。
③教育委員会・福祉部署等の連携は。
④相談しやすい環境づくりは。

答 関係機関と連携し対応

西海保健福祉部長 ①市でも国や県がアンケート調査で示している定義と同様に捉えている。正しく理解する必要があり、一概に取り扱うのは適切ではない。
②③いじめ、不登校は教育委員会、児童虐待、ヤングケアラーは子育て支援課。ケースにより関係課が連携し、柔軟に対応する。必要に応じ児童相談所や警察などの関係機関とも連携。
④気軽に相談できるよう相談先の周知が必要。学校でも相談しやすい環境づくりに努める。



武川則幸議員
(笛新会)

問 連携中枢都市圏構想は

答 広域観光の推進や特産品の6次産業化など

武川則幸議員 地方公共団体は一定の事業について単独で行うよりも効果・達成度が見込まれる「圏域」事業の推進が必要。

- ①構想の3つの役割を伺う。
- ア)圏域全体の経済成長のけん引。
- イ)高次の都市機能の集積・強化。
- ウ)生活関連機能サービスの向上。
- ②県央自治体実務者会議の構成団体と、今後のスケジュールは。
- ③連携協約後メリットのある取り組み、想定される事業等は。

返田総合政策部長

- ①ア)圏域全体の経済成長のけん引は広域観光の推進や地域農業の強化などに取り組む。
- イ)リニア開通による広域交流拠点の形成、圏域に点在する公共施設・公共インフラの広域的利活用などに取り組む。
- ウ)行政資源を有効に活用するための圏域マネジメント能力を強化。
- ②本市を含め9市1町。甲府市が連携中枢都市圏形成に向け、進め方やスケジュール等を検討している。
- ③広域観光の推進・プロモーション、特産物の6次産業化・販路拡大・地

産地消、公共交通ネットワークの構築、在宅医療、介護連携推進など想定。

問 市道1・27号線の環境整備は

武川議員 御坂みちの一宮御坂IC

南交差点から南進し、栗合交差点までの約1・5kmの片側1車線道路。道路の植樹帯の花桃を伐採したため、市の玄関道路としては寂しい状況となっている。植栽樹(176カ所)は撤去・フラット化の検討も必要。市の整備に関する今後の取り組みは。

答 年度計画で植樹樹の撤去を行い、通行スペース確保

標建設部長 歩道の植樹樹に植栽された花桃は、病害虫の発生や果実の

落下で、通行する方々の迷惑となることから、平成28年度に伐採され現在に至る。年度計画で植栽樹の撤去を行い、通行スペースの確保を図っていく。



岡 由子議員
(新風会)

問 タブレット端末導入後の課題と対策は

答 ICT活用能力の向上を図る

岡 由子議員 ①端末使用教員数は。

- ②書く力の低下を懸念、対策は。
 - ③セキユリテイ対策と指導は。
 - ④利用できるソフト、十分か。
 - ⑤教員のスキルアップ、具体内容は。
- 赤尾教育部長 ①9割の教員が使用。
- ②ノート指導も重視。タブレット端末の使用と、ノート等を使用した書く活動を効果的に位置付け、書く力を向上。
 - ③IDとパスワードを個別に設定、フィルタリングを校内ネットワークに設定。各学校にガイドラインを示し、ルールに沿って使用するように指導。
 - ④ワード、エクセル、パワーポイント、チームズが利用可能。授業で活用し、ソフト導入が十分か検討。
 - ⑤市学力向上研究委員会では教員のICT活用能力の向上や活用実践例を研究し授業力の向上を図っている。

問 ツインテラスの活用方法は

岡議員 ①トイレや案内パネルなどの周辺整備について。

②大型の蝶のアサギマダラ蝶など自然を楽しむ場所としての魅力発信を。

③芦川の兜屋根は日本の原風景。まち歩きガイドツアーやボランティアガイドなどの育成は。

④旅行プラン企画の進捗状況は。

⑤観光拠点としての活用は。

答 眺望だけでなく自然を楽しむ場所としてPR

小宮山産業観光部長 ①トイレは利

- 用頻度に合わせた設置台数を検討。多言語パネルは階段中間地点に設置済み。
- ②アサギマダラの好むフジバカマの植栽を検討。眺望だけでなく、自然を楽しむ場所としてPRする。
- ③体験型のガイド付きツアーの造成や、必要なガイドの育成も検討。
- ④ツアーを12回実施。184人参加。今後も、旅行者と協力し、旅行プランの作成や宣伝活動を行っていく。
- ⑤アンケート調査などを参考に、観光拠点としての活用を検討。



落合俊美議員
(新風会)

問 後期高齢者健診事業は

答 令和3年度から医療機関での個別検診を実施

落合俊美議員 ①後期高齢者健診の内容は。

- ②後期高齢者医療保険加入者数は。
 - ③集団検診受診者の人数と助成費は。
 - ④医療機関での受診者数と助成費は。
 - ⑤人間ドック健診、助成金の検討は。
- 西海保健福祉部長** ①集団健診に加え19カ所の医療機関で個別健診。
- ②令和3年11月末現在10、566人。
 - ③対象者9、868人中、受診者は1、807人。コロナの影響で受診者は減少。基本項目を受診する場合の費用は市が全額助成。
 - ④令和3年度6月1日から11月30日までが受診期間で、294人の申込み。基本項目を受診する場合、市の助成は5、765円、自己負担は1、000円。
 - ⑤後期高齢者検診とがん検診を組み合わせて受診することで、人間ドックとほぼ同じ項目を検査でき、自己負担も少なくなることから、助成は考えていない。

問 教職員の多忙化解消は

落合議員 ①学校給食費の公会計化、市の取り組み状況は。

- ②保護者への周知、納入方法は。
- ③給食費未納保護者への対応は。
- ④給食費以外の教材費なども徴収しているが、多忙化解消の検討は。

答 学校給食費の公会計化と併せて学校徴収金の徴収を市が担う

赤尾教育部長 ①令和4年4月から

- 公会計化、学校給食管理システムによる管理台帳の整備を進めている。
- ②公会計化のお知らせを配布。原則口座振替。できない場合は、納付書で市役所または金融機関等で納付。
- ③納期限ごとに督促状を送付し、学校と連携し納付を促す。
- ④教職員の多忙化解消のため、県内他市町村に先駆け、令和4年度から徴収業務を市が担う。現在、学校給食費の公会計化と併せ4月からの運用開始に向け準備を進めている。



河野智子議員
(日本共産党)

問 CO2削減、市の取り組みは

答 環境意識の向上を図る

河野智子議員 ①地域美化推進制度「アダプト・プログラム」、団体増の取り組みは。

- ②温暖化対策の広報や教育は。
- ③公共施設の太陽光発電の電力使用量は何か。
- ④市内避難所で蓄電池を備える太陽光発電設備は何箇所か。
- ⑤省エネ住宅などに補助金を。
- ⑥ソーラーシェアリングの促進を。
- ⑦乱開発と景観保全の両立は。

雨宮市民環境部長 ①広報紙やホームページに登録の案内を掲載、今後は活動内容を紹介するなど活動団体のやりがいづくりも検討する。

- ②環境教育や市民講座を実施し、環境意識の高揚を図っている。
- ③太陽光発電施設を設置している市の施設は学校18校、その他が9施設。元年度14・2%、2年度9・9%。
- ④37カ所のうち20カ所に太陽光発電設備あり。蓄電池を備えた避難所はない。
- ⑤市の補助制度は一定の成果が得られたため平成29年に終了。今のところ補助金創設の予定はない。
- ⑥先進地の事例を参考に、関係機関

問 ささらなる子育て支援を

河野議員 ①子ども医療費の年齢引き上げを。

- ②給食費無償化の検討を。
- ③保育園で使用の紙オムツ処理経費の補助を。
- ④私立保育園にも完全給食を。
- ⑤園で使う昼寝用布団の要望検討を。

答 対象年齢拡大を検討

西海保健福祉部長 ①対象年齢の拡大に向け検討進める。

- ②無償化は考えていない。
- ③公立保育所において、園内処分実施の検討進める。
- ④経費補助の考えはないが、完全給食未実施の園に、実施に向けた働きかけを行う。
- ⑤保護者負担の軽減につながるよう方法などの検討をする。



渡辺正秀議員
(日本共産党)

問 笛吹みんなの広場、運営と魅力・賑わい創造を
答 和やかな気分で楽しむ場を整備している

渡辺正秀議員

①整備について：温かい雰囲気づくり、特産品等を紹介する機能の創設や防風対策、小規模移動式舞台・音響・照明の設置は。

②管理運営について：広場の管理公募は不適切。運営委員会の設置を。

③市の特徴と市民力を生かし活用を。

標建設部長 ①自然を感じ、和やかに楽しむ場として整備。様々なイベントに対応できるように必要な機能整備を検証する。芝生広場との一体感演出のため壁等の備えなし。大規模イベントの音響は主催者による設置を想定。簡易な照明等は施設に完備。

②当面は直営で行い、管理運営については効果的・効率的な体制の在り方を検討する。

③イベントを行う中で市民の交流や憩い、賑わいの場となるよう検討。

問 応援商品券事業の当初案の検証は

渡辺議員 ①地方自治法のとおり、住民サービスは公平であるべき。

②マイナンバーカード取得の有無は差別の合理的理由にならない。

③公平性を旨とすべく行政の在り方の再考を求める。

④マイナンバーの取得情報は個人情報。配布に対する法的根拠は。

⑤ポイント付与でマイナンバーカードの普及は逸脱行為では。

⑥自己情報コントロール権、個人情報保護委員会の権限強化。

答 重点施策に必要な予算使う

返田総合政策部長 ①③地方自治法に則り住民サービスを行っている。

②カード取得者または申請に一定の利益を与えるものであり、差別に当たらない。

④笛吹市個人情報保護条例に基づき利用できるものと考える。

⑤国は普及促進を目的としたマイナンバーポイント事業を行っており、重点施策に必要な予算を使うことは当然だと考える。

⑥自己情報コントロール権は、確立されている。個人情報保護委員会は十分な独立性と権限を持っていると考える。

笛吹市の年末年始



第25回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会
笛吹市議会議長賞受賞「おひさまもかきごおりたべまっかっか」



新しい年に向けて新年の寄せ植え
(スマイル上平井の皆さん)



天雷太鼓保存会の演奏



佐久神社にて初詣

総務常任委員会

12月15日から16日の2日間委員会を開催。付託された令和3年度補正予算、条例の一部改正等を審査し、原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 神宮司正人 | 副委員長 | 河野 正博 |
| 委員 | 神澤 敏美 | 荻野 謙一 | |
| | 中川 秀哉 | 渡辺 正秀 | |

〈総務部所管〉

〔説明〕

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（いわゆる番号法）の改正に伴う条例改正で、改正された番号法第19条に、従業員の転職時の使用者間での特定個人情報提供を可能とする号が新設された。

Q 具体的にはどのような情報がやり取りされるのか。

A 番号法に規定のある情報に限られ、具体的な情報としては雇用保険の加入情報等である。

〔説明〕

国の規則改正に基づき、職員の不妊治療のための休暇を新設するとの説明があった。

Q 男性・女性ともに休暇が取得できるのか。

A 男性、女性ともに取得可能である。

〔意見〕

対象の職員が差別等を受けられないよう留意してほしい。

〔説明〕

市民窓口館および保健福

祉館の改修工事は、市民窓口館は生活援護課が1階から4階へ移転、保健福祉館は、1階の相談室に母子保健担当が移転、および相談室を現在の101会議室に移転する。また、2階のハイカウンターをローカウンターに変更する改修工事。

〔意見〕

現在の生活援護課は日当たりが悪く、職員の健康面も心配である。ぜひ、日当たりが良い場所への移転をお願いしたい。

〈総合政策部所管〉

Q ふるさと納税およびふるさと納税版クラウドファンディングともに、寄附者は目的を指定して寄附を行っている。ふるさと納税を積み立てる、まちづくり基金も目的別に管理しているのか。

A まちづくり寄附条例に寄附目的として5項目の事業区分が規定されており、その項目に区分して管理している。また、ふるさと納税版クラウドファンディングによる寄附金は、具体的

な使途目的を定め、その目的に使っている。

〈市民環境部所管〉

Q みさかの湯・一宮ももりの里温泉の指定管理料の損失補てんに対し、積算根拠および新型コロナウイルス感染症防止を理由とする休業に対する国の補助金の対象にならないか。

A コロナ前の同月期、令和元年8月、9月の決算状況の比較により積算を行っている。当該期間との比較では、入館者数が35、

276人、営業収益は1、357万円の減少となっている。営業収益から営業経費を差し引き、かつ人件費や光熱費を抑えた中で算出している。また、市の指定管理施設への損失補償は、国の交付金・補助金の対象にならない。

〔継続審査〕

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願」は、世界的な動向を見ながら議論をさらに重ねたいとの理由から、継続審査となった。



委員会議案審査

教育厚生常任委員会

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 武川 則幸 | 副委員長 | 河野 智子 |
| 委員 | 保坂 利定 | 古屋 始芳 | |
| | 野澤今朝幸 | 渡辺 清美 | |

12月15日から16日の2日間委員会を開催。付託された令和3年度補正予算、特別会計補正予算、条例の一部改正等を審査し、原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

〈市民環境部所管〉

Q 出産育児一時金の改正について、市民の中には所得が少なく、当該一時金の金額では「不足している」との訴えであったり、市としてそういった声を感じられるような状況はあるのか。

A 経済的に厳しいという事で、出産育児一時金の支給を受けるまでの間、出産に要する費用を支払うため、資金の貸し付けをあっせんする制度を利用する事例も

あるが、不足しているとの訴えはなく、貸付についても全体的には少数に留まっている。

〈保健福祉部所管〉

Q 障害児通所支援事業について、給付費の増加の要因は、対象者が増えているためか。

A 対象者が増えていることに加え、障害児通所サービスを利用している人数が増加したことによる。



石和西小学校学童施設視察



通学路を確認する委員

Q 市立保育所完全給食化事業について、完全給食化にあたりアレルギー対策は。

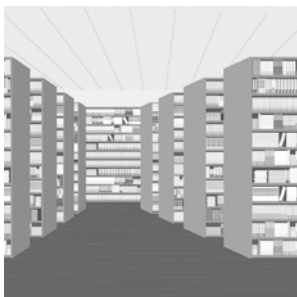
A 園では、従前からアレルギー対策に取り組んでおり、引き続き対策を講じていく。

市民に活用してもらおう。また境川図書室については、一部の蔵書を残し利用者が自由に使用できるスペースとして活用する。

〈教育委員会所管〉

Q 閉室する境川図書室の蔵書についての今後の取り扱い。

A 蔵書は市内の他の図書館に移管する。充実した俳句関係の資料については、石和図書館へ移管して広く



建設経済常任委員会

12月15日から16日の2日間委員会を開催。付託された令和3年度補正予算、事業会計補正予算、条例の一部改正等を審査し、原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 小林 始 | 副委員長 | 山田 宏司 |
| 委員 | 岡 由子 | 落合 俊美 | |
| | 中村 正彦 | 海野利比古 | |
| | 前島 敏彦 | | |

Q 一部改正の主な内容の説明を求めます。

A 主な改正点は3つであり、1つは連帯保証人の住所の要件を県内から国内にする点。連帯保証人の収入要件を、民法等の改正を受け廃止した点。連帯保証人に代わり家賃債務保証会社に保証で可能になる点であり、いずれも要件を緩和する改正である。

〈建設部所管〉



現場視察(境川町大坪地内)

Q 「担い手対策事業費」についても産地競争力強化支援事業について、市内のすもも生産状況の詳しい説明を求めます。

A 農林業センサスによると、市内のすももの耕作面積は74畝で、市内全域で栽培されている。農協によると、境川、御坂、八代の順で生産者が多いとのことである。優良品種への改植の

〈産業観光部所管〉

補助は、国の補助事業に該当しない面積、小さい面積のものが対象となる。

〈公営企業部所管〉

Q 収益的支出における、水道事業費、特別損失、過年度損益修正損について、詳しい説明を求めます。

A 漏水の減免で、本年については例年に比べ件数が2割程度多くなっているが、気象条件を見ると凍結など

が原因ではなく、本年の偶然的事例と考えている。

Q 漏水による減免額の計算は。

A 申請により、漏水中の最高値1期分と改善後3期の平均との差で計算し、その数値の下水については100%、水道については50%が減免額である。



現場視察(八代町増利地内)

人事

可決 人権擁護委員の候補者の推薦

神宮司由則（石和町下平井）
久保田一男（御坂町成田）
鈴木 弘子（一宮町橋立）
久津間光貴（一宮町上矢作）
小林 千澄（境川町前間田）
古屋 修二（春日居町桑戸）
須田 浩司（石和町市部）
金子 宏（一宮町金田）

任期 令和4年4月1日から
令和7年3月31日

同意 教育委員会委員の任命

高野 仁美（春日居町鎮目）
任期 令和4年1月1日から
令和7年12月31日

当選 新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議員の選挙

田中 徳広（芦川町鶯宿）
宮川 博人（芦川町鶯宿）
宮川 武仁（芦川町鶯宿）
宮川 智秋（芦川町鶯宿）

任期 令和3年12月27日から
令和7年12月26日

意見書の提出

「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書の提出

人生100年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きをおき、これまで培ってきた知識や技術を活かし就業している高齢者がいます。形式的に個人事業者であることもあって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念されます。

現在の消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1,000万円以下の事業者は、消費税の納税義務が免除されているところであり、会員の手取り額が減少することなく、またそれを支えるシルバー人材センターにおいても安定的な事業運営が可能となるような措置を要望し、市議会として国に意見書を提出しました。

《緊急要望を実施》

○要望書を提出

当初、国が示した事業概要では、5万円を先行して現金給付し、残りの5万円をクーポン給付することになっていました。

そのため市議会として子育て世帯に対する支援をより早期に実施するため、また子育て支援は、平等であるべきという考え方から、12月15日に市内の子ども全員に現金10万円一括給付を行うことを市へ要望いたしました。

《補正予算の概要》

○令和3年度笛吹市一般会計補正予算（第9号）

国が新たな経済政策として年収960万円未満の子育て世帯に対して1人当たり現金給付分5万円を年内に給付することを決定したため、予算の追加提案が市長から提出され、12月3日の議会初日に全会一致で可決しました。

○令和3年度笛吹市一般会計補正予算（第10号）

議会からの要望や国の政策の変更から市内の子ども全員に現金10万円の一括給付を行うことを決定し、市長から追加の補正予算が12月21日の議会最終日に提出され、全会一致で可決されました。

○令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

（補正9号） 4億1,789万円
（補正10号） 6億4,286万円

きありがとうございました。

募集に多くのご意見をいただきました～

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、大人数を集めての集会等はできない状況だったため、議会報告会にかわり、笛吹市議会では令和3年8月から11月までの4カ月間、市民の皆さまから政策提案・意見を募集しました。市民の皆さまから多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

今回いただいた意見については、議員全員ですべての内容を確認し、さらに常任委員会でも議論しました。各委員会内で継続して議論しなければならないことや執行側へ要望していかなければならないこと、また、議会からの政策提案が必要なこと、議会でもさらに研究し議論が必要なことなど、多くの課題をいただいたと受け止めております。

議会全体に関わるものとしては、メディアを活用した情報発信についての提案をいただきました。市議会でもタブレット導入などを検討していく中で、積極的な情報発信の方法についても考えていきたいと思っています。

また、12月定例会における常任委員会審査のなかでも、各担当部署に今回いただいた内容を伝えました。今後も執行部・議会とともによりよい笛吹市のまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。



いただいた意見を検討する議会改革委員会委員

多くのご意見をお寄せいただき

～議会報告会にかわる政策提案・意見

総務常任委員会所管のご意見は…

総務常任委員会所管で、皆さんからいただいたご意見のおもなものとしては、核兵器禁止条約に関する請願、適切な行政サービスや防災・水害対策および交通安全対策に対する提言、防災行政無線の放送内容、公共交通(デマンドタクシー)の整備・改善、新型コロナウイルス感染症の経済対策としての商品券配布、ボランティアの養成などに関するご意見をいただきました。

請願については、これまでも常任委員会で活発な議論を、継続して行っているところです。また、商品券の配布は、9月定例会において、すでに市民全員への配布が決定となりました。さらには、行政サービスや防災・水害対策、交通安全対策に関しては、具体的な提言をいただきましたので、今後の委員会での調査・研究を行っていききたいと思います。

教育厚生常任委員会所管のご意見は…

教育厚生常任委員会には、社会教育施設等の利用手続き、新型コロナワクチン接種、商業施設などへのごみステーションの設置やごみの分別に関するご意見、薬価費用の適正給付の提言などについてご意見をいただきました。

3回目のコロナワクチン接種については、事前に接種の希望を郵送で確認し、市が予約をとった上で、1月下旬から順次通知します。また、ごみステーションの設置については、12月定例会の一般質問も行っています。どのご意見も具体的かつ生活に根差したものが多かったため、委員会の中で協議や調査を重ね、執行側への働きかけに活かしていきたいと考えています。

建設経済常任委員会所管のご意見は…

皆さまからいただいた多くのご意見の中から、建設経済常任委員会の所管に関わる部分については、観光を意識した景観整備について、ツインテラスへのバス運営、下水道の使用についてなどのご意見をいただきました。今回いただいた意見について、常任委員会でも議論し、今後も委員会内で継続して調査・研究していききたいと思います。また、いただいた意見の中には、より具体的な要望もありました。(道路整備や上下水道料金に関する事など)FUJIYAMAツインテラス・道路整備については、12月定例会の一般質問でも、質問がされております。これらについては、常任委員会のなかでも、議論を重ね、執行側へ皆さまの声を届けていききたいと思います。



「挨拶」が通い合う 地域・家庭・学校



石和町中川
渡邊みか子

以前「オアシス運動」（挨拶運動）の推進が、学校をはじめ家庭や地域で取り組みがなされ、この運動の重要性が叫ばれていました。
「オ」は「おはようございます」の「オ」です。この挨拶運動の中核をなす大事な言葉です。
私は、民生委員の仕事の一つとして、

毎朝学校近くの交差点で、小中高生の「登校安全指導」（旗振り）をしています。私が「おはようございます」と笑顔で子どもたちに挨拶すると、子どもたちからも「おはようございます」と元気な声が跳ね返ってきます。嬉しい感動の一瞬です。
この地域の子どもたちが通う小学校では、10年くらい前「山梨県一の学校にするための十か条」を策定。その第一条「あいさつ運動」。その精神は今もなお受け継がれ、学校便りで様子を地域に発信されている（まさしく継続は力なり）。
何事にも通じることですが、私は挨拶も大人からすることが大切であると実感しています。

気候変動・子どもたちに 地球を残せるか



八代町北
中山八十司

3年くらい前に、スウェーデンの国会議事堂の前に、16歳の女子高校生が手作りの看板に「気候変動を防ぐために学校を休む」と自分で書いて、座り込みのストライキに入った。
今や、この若者の運動が世界中に広がっており、とてつもない巨大な運動になっ

ている。政治家や事業家たちを前にして、鼻を真っ赤にし、涙目で彼らを睨みつけながら「地球温暖化を食い止めるために、今すぐ行動してください。さもないと私たちの子どもが生きていく地球がなくなりませう」「異常気象により世界中で毎日子どもたちが死んでいます」「私たちの将来を奪う権利は、それまで生きていないあなた方にはない」。
その通りだと思う。小学校1年生の孫と天川の土手を散歩しながら話した。「じいじが小さい時、ここで泳いだり、きれいなお魚を取って遊んだよ！楽しかった。でも、今は川に入れないからね。ごめんさい」。

編集後記

御坂町の「直進道」と呼ばれる道路から見える白根三山の北岳、鳳凰三山の地藏岳に、若いころ日帰りで登頂したことを話題にしたところ、同僚議員から無謀なことをしたものだと言われました。

20歳代に富士山に登り、その後は八ヶ岳の赤岳、そして日本で2番目の標高3、193 mの北岳、地藏岳、茅ヶ岳、瑞騰山などの山頂での爽快感を味わいました。

この先、後期高齢者となっても、友人たちと登った山々の思い出は、色あせることはないでしょう。

自然と果実に恵まれた、笛吹の地で生活する幸せを感じています。この幸福感を笛吹の宝である子どもたちに残しておくことが、私たちの務めであると思います。年齢を重ねても、新しいことに挑戦していきたいと念じている所存です。

議会広報編集委員会

委員 武川 則幸

表紙説明

笛吹市
年末年始の風景

熊野神社（御坂町成田）
・令和4年1月1日元旦

超願寺（一宮町塩田）
・令和3年12月31日大晦日